

第2回東三河南部交通圏タクシー準特定地域協議会 議事概要

日 時：平成26年11月14日（金） 15：00～

場 所：愛知県東三河総合庁舎 302 会議室

出席者：別添名簿のとおり

内 容：下記のとおり

1. 開会 … 事務局

2. 協議会長あいさつ … 愛知県タクシー協会 青木会長

3. 新構成員の紹介 … 事務局

4. 定足数報告 …事務局

5. 議事

(1) 協議会長の選任（交代）について

- ・ガイドラインの趣旨について事務局説明。
- ・会長を「名城大学松本教授」、副会長を「豊橋技術科学大学松尾助教」とする事務局案について、設置要綱第7条（1）の規定により議決。

→採決の結果、全構成員（当事者除く）の賛成により事務局案承認。

【新会長挨拶】

- ・私の専門は都市計画であり、公共交通関係についても県内各地でお手伝いをさせて頂いているところ。
- ・タクシーは終電、終バス等により乗り遅れた際に欠かせないものであり、いざという時に代替措置があるということが、公共交通を利用しようとする機運に繋がっている面がある。
- ・そういった意味において、タクシーは公共交通機関として重要な役割を担っており、自治体との連携をもっと推進していく必要があると考えている。
- ・タクシーは専門ではないが、みなさんの協力を得ながらより良い会議にしていきたいと考えているので、ご協力のほどよろしくお願いしたい。

【新副会長挨拶】

- ・私は長野出身で、約10年前に豊橋に赴任してきた。今回、大変重要な役割を頂戴したと感している。
- ・タクシーのことはあまり詳しくないが、利用者としての立場も踏まえて参加したいと考えているので、よろしくお願いしたい。

(2) 地域計画の進捗状況について

- ・資料1、1-2、1-3、1-4に沿って事務局説明。

【質疑応答】

- ・資料1のP5にあるショットガン方式とは？（会長）
- ・タクシー乗り場とは別に待機場を設け、乗り場の空き状況に応じて待機場から乗り場へ向かう方式。豊橋駅東口のタクシー乗り場は5台しか停まれないため、100mほど離れたところにタクシープール（50台収容可能）を設置した。昨年の9月より運用開始。なお、豊橋駅独自の方式として、乗り場は、プールとも、会社別に並ぶこととし、選択乗車をより利用し易くした。また、配車センターへの配車依頼に対して、プールから直接向かう形も認めることとした。（東海交通）
- ・タクシーサービスの活性化にかかる取り組みについて、利用者からの評価は？感覚的なものでもいい。（会長）
- ・数値で表せるものは特段ない。タクシーモニター等を活用して改善を図っているところ。名鉄グループは、グループ内で独自にモニター制度を設けている。（豊鉄タクシー）
- ・個別事業者の取り組みとは別に、協会として年間36名に対しタクシーモニターを委嘱し、各種サービス（挨拶、みだしなみ等）について調査を行っている。多少変動はあるものの、おしなべて毎年改善している傾向にある。（事務局）
- ・名鉄さんのように各社ごとに行っている取り組みも反映させるべき。（会長）
- ・福祉タクシーについて、卵が先か鶏が先かの問題となるかもしれないが、もう少しニーズがあるのでは？（会長）
- ・昔は一般タクシーは障害やハンデを持っている方はターゲットにしていなかったが、徐々に対応車両を導入している状況。なお、最近は福祉専門の事業者も多く参入しているため、その方達が当該ニーズを引き受けている面もある。（事務局）
- ・AED設置などの様々な取り組みについて、広報活動等ほどの程度実施しているのか。（副会長）
- ・広報は特段行っていない。AED機器がどこに設置されているかは県HPに載っているため、これについて内部展開を図っている程度。（事務局）
- ・もっと対外的なアピールが必要では？（副会長）
- ・その気持ちはあるが、なかなかメディアに関心を持っていただけない。この点については、是非自治体のご支援を賜りたいと考えている。学校や女性団体を絡めると取り上げられやすい印象があるため、傾向を分析し今後広報のやり方を考えていきたい。（事務局）
- ・もっと自治体とのタグが必要。児童見守り活動などは、自治体のニーズとタクシー事業者の特性がうまくマッチングした良い取り組みといえる。（会長）
- ・豊橋まつりや豊橋カーフリーデー等のイベント時には、タクシー業界にも働きかけを行うこととしたい。（豊橋市）
- ・タクシーは環境面においてはどのような効果があるのか。（会長）
- ・LPGはガソリンより排ガスが少ない。最近は低燃費LPGがあり、またLPGもハイブリッドが出る見込みのため、更に環境に優しいタクシーを打ち出していけると考えているところ。（事務局）

- ・コストの面があるため、低公害車を一気に導入していくのは難しいが、通常のLPGでも相対的には環境に優しいため、もっとPRが必要。(東海交通)

(3) 東三河南部交通圏の指定解除について

- ・追加資料 1、2、3、4 に沿って、中部運輸局旅客第二課 金子課長説明。

【質疑応答】

- ・今回は法に基づく会議という形で招集されたが、今後は任意の協議会という形となるのか。(東海交通)
- ・協議会を続けるかは今後議論が必要。法定協議会としては今回が最後となる。(金子課長)
- ・今回は解除という結果となったが、今後再指定される可能性もある。(東海交通)
- ・(解除は) H13年の実績が良かったか悪かったかということも影響している。四日市、東濃西部は任意の協議会へ移行したが、その後あまりうまく運営されていないと聞いているため、勉強会といった形もあり得るのではないか。いずれにしろ、引き続きタクシーの適正化・活性化を進めていく必要があると思われる。(金子課長)
- ・当協議会を任意の協議会として残したいという意見はあるか。(会長)
- ・タクシーも公共交通機関として重要な役割を担っている。引き続き協議会を開催して頂ければと考えているところ。(県)
- ・行政が抱える社会ニーズについて、タクシーについては働きかける場がほとんどない。特定の事業者とやり取りするわけにはいかないため、このような場があることは重要。(田原市)
- ・事業者はどのように考えているのか。(会長)
- ・数字だけみれば改善しているようにみえるが、実態は決して良くない。やるべきことは沢山あるため、形は変わっても協議の場は必要と考える。(豊鉄タクシー)
- ・同意見。行政とはもう少し密に意見交換したい。自治体により取り扱いが異なり、それが事業者にとって負担となるケースがあるため、この場で検討できればと考えているところ。(豊川タクシー)
- ・引き続き協議会は必要。(新城交通)
- ・では協議会を残すこととしたが、異議はあるか？(会長)
→特段意見なし。協議会を残す方向について承認。

(3) 今後の取り組みについて

- ・資料 2、2-2、3 に沿って事務局説明。

【質疑応答】

- ・指定解除に伴い計画の作成は必要なくなったが、同じような形で作っていきたいと考えている。法定ではなくなったため、自由な形で作れるのではないか。(会長)
- ・自治体との連携が必要。各自治体の交通計画等において、現在タクシーの位置付けはどうか。(副会長)

- ・現在マスタープランを作成しており、タクシー業界にも計画作りに入ってもらう予定。なお、タクシーをどのような位置付けとするかについては今後の課題。(豊橋市)
- ・当市は連携計画を策定済みであり、形成計画についても作成したいとの思いはあるが、まだ詳細は固まっていない。今後作成する場合は、タクシーも含める必要があると考えている。(豊川市)
- ・連携計画は策定したが、形成計画については未定。当市では以前からタクシー事業者とは密に連携を取っており、協力して高齢者割引制度(70歳以上3割引)を実施しているところ。大変好評を博しているが、団塊の世代が70代に突入しており歳出が増えていくため、見直しについて検討が必要な状況。なお、AED関連については現在予算要求中であり、今後AEDの普及に向け尽力していきたいと考えているところ。予算が通ったら、タクシー業界とも連携して施策を進めていければと考えている。当協議会は、情報共有を図る上で大変貴重な場であるという認識でいる。(蒲郡市)
- ・新城市は山間地域にあり、豊橋とは状況が大きく異なる。年金受給層が非常に多いこともあり、タクシーを使う環境は極めて低い。ただし、鳳来など観光地が存在し、飯田線からのフィーダー交通が脆弱なため、タクシーでカバーできないか検討中。今後、タクシーと連携しながら観光誘客を図っていききたいと考えているところ。(新城市)
- ・今年の6月に公共交通会議を開催し、現在の連携計画を活性化・再生法に適合する形で見直し中。今のところ、当該計画においてはタクシー等をコミュニティ交通を補う「パーソナル交通」に位置付けているところ。当市では公共交通をまちづくりの視点で捉えており、単に生活交通だけでなく、産業や観光面からもアプローチが必要との認識でいる。そういった背景もあり、今後タクシー交通の充実を図っていききたいと考えている。(田原市)
- ・各市町の取り組み状況がよく分からないため、事業一覧表のようなものがあるとありがたい。(県)
- ・タクシーを公共交通と捉え、是非次回の計画等には反映して頂きたい。(副会長)
- ・これまで(自治体とタクシー業界との)マッチング機能がなかった。今後この協議会をうまく活用して頂ければと考えている。田原市の「パーソナル交通」というのは大変良い考え。タクシーは単に公共交通の補完でなく、今後主体となるケースも出てくると思われる。お互いにとってより良い会議にしたいと考えているので、今後も協力のほどお願いしたい。(会長)

(4) 今後のスケジュール等

- ・年内には各構成員に対するアンケート等を実施し、年度内に素案を取りまとめたいたいと考えているところ。(事務局)

(5) 閉会